

# 都市再生整備計画 事後評価シート

うえの だいに  
上野第二地区

平成23年 3月

東京都 はちおうじ  
八王子市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	東京都	市町村名	八王子市	地区名	上野第二地区			面積	35.6ha			
交付期間	平成18年度～22年度	事後評価実施時期	平成22年度	交付対象事業費	2,374百万円	国費率	0.4					
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名									
	基幹事業		公園(街区公園2箇所)、地域生活基盤施設(情報板2箇所)、土地区画整理事業									
	提案事業		健康まちづくり支援事業(ウォーキングルート整備)									
			事業名	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし	-			-					
		提案事業	なし	-			-					
新たに追加した事業	基幹事業	なし	-			-						
	提案事業	なし	-			-						
交付期間の変更	当初	平成18年度～22年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			-						
	変更	なし										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
	指標1	公園利用者数	人	83,000	H17	100,000	H22	89,425	△	あり	関連する一部事業の効果が十分に現れていないため目標値を下回る結果となったが、土地区画整理事業による公園へのアクセス性の向上、公園の施設整備の効果により従前値は上回った。今後、整備内容の周知が進むことにより利用者数の増加が期待できる。	H23年9月
	指標2	不燃建築率	%	29	H17	35	H22	37	○	あり	土地区画整理事業の実施により、基盤整備にあわせて木造から非木造への建築物の建て替えが促進されて不燃建築率が高まり地区の防災性が向上した。	H23年6月
指標3	幹線道路交通量	台/日	6,533	H17	9,600	H22	14,004	○	あり	鉄道交差部による渋滞が解消され、交通量が増加し、地域内の主要幹線道路への円滑な交通アクセスが確保された。	なし	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
その他の数値指標1												
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地区画整理事業が行われたことにより、歩行空間が確保され歩行者の安全性が向上した。また、道路幅員が広がったことにより防災面が改善された。</li> <li>・八3・5・53号線において、歩車分離されたことにより安全なルートが整備された。また、鉄道交差部が立体交差化されて南北の往来がしやすくなった。さらに、地区周辺にある消防署から現場へ向かう所要時間が短縮した。</li> <li>・健康器具が設置されたことにより、公園の施設に対する満足度が向上した。また、ウォーキングルートの利用のニーズが高い。</li> </ul>											
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況					今後の対応方針等			
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
	住民参加プロセス	3号公園の名称を決めるために地元住民との意見交換	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					●	今後は、公園の維持活動を地元住民と連携しながら行っていく。			
持続的なまちづくり体制の構築	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										

## 様式2-2 地区の概要

### 上野第二地区(東京都八王子市) 都市再生整備計画事業の成果概要

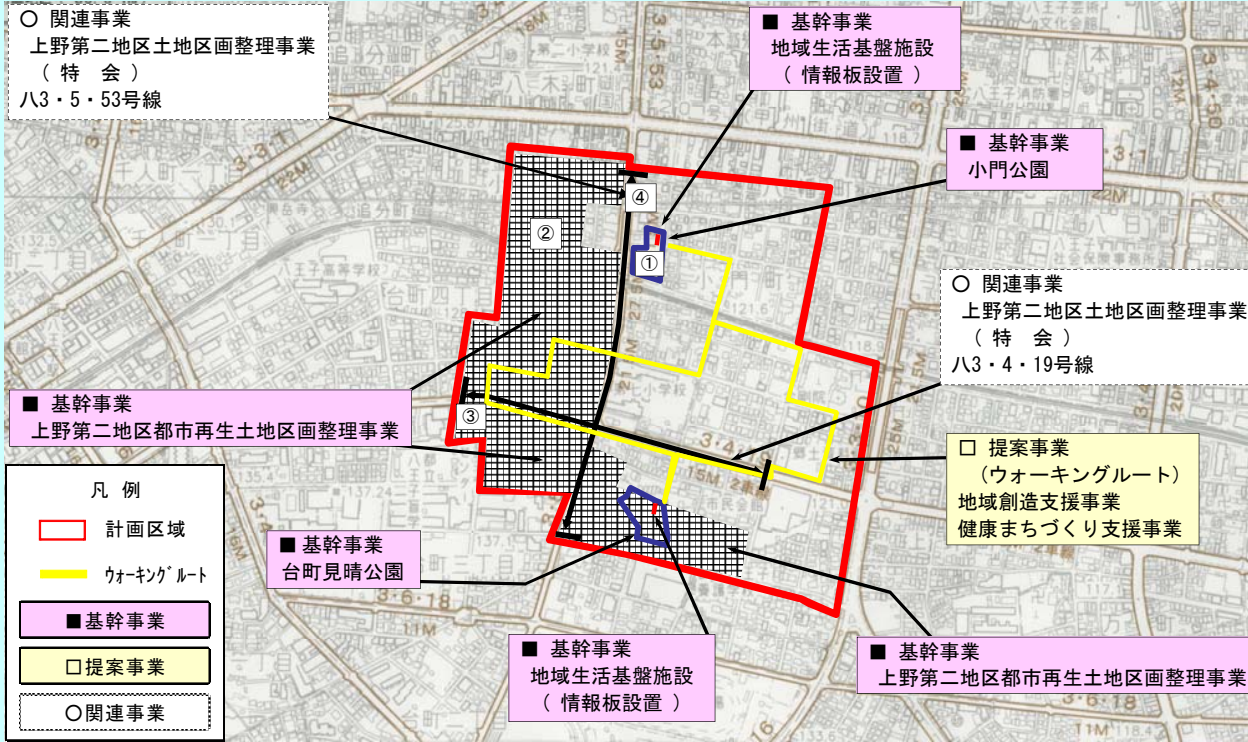
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値	目標値	評価値
<b>目標</b> 1) 既成密集市街地の再構築を図り、本市中心市街地としてふさわしい健全な市街地を創出する。 2) 健康とふれあいのあるまちづくり。	公園利用者数	単位:人	83,000 H17	100,000 H22	89,425 H22
	不燃建築率	単位:%	29 H17	35 H22	37 H22
	幹線道路交通量	単位:台/日	6,533 H17	9,600 H22	14,004 H22
		単位:	H	H	H
		単位:	H	H	H



① 小門公園



② 上野第二地区都市再生土地区画整理事業



③ 土地区画整理事業(八三・四・一九号線)



④ 土地区画整理事業(八三・五・五三号線)

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>土地区画整理事業の実施により、区域内道路が整備され、交通の隘路が解消され、適正な街区が形成された。</li> <li>土地区画整理事業の実施により、基盤整備にあわせて木造から非木造への建築物の建て替えが促進されたことにより、防災面の改善が図られている。</li> <li>土地区画整理事業の実施により、公園へのアクセス性が向上し、さらに、健康器具が設置されたことにより、地域住民の健康増進やふれあいの環境が向上した。</li> <li>公園利用者数は増加したが、事業が完了したばかりなので利用促進が図られていない。</li> <li>土地区画整理事業の実施により、JR中央線の踏切が除去されたため、八三・五・五三号線の交通寸断がなくなり、主要幹線道路への円滑な交通アクセスの確保が図られた。</li> <li>当地区における土地区画整理事業の実施により、主要幹線道路の交通量が増加したことに伴い、地区外の歩道の未整備区間において、安全面で新たな課題が生じた。</li> </ul>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>地区内の老朽木造住宅の更なる不燃化の促進を図っていく。</li> <li>住民との協働による、維持管理の促進を図っていく。</li> <li>公園の利用促進のために、健康器具とウォーキングルートの利用方法を周知する。また、利用者のニーズを考慮し、利用環境の向上に努める。</li> <li>地区周辺の歩道の未整備区間における歩行空間の整備を行う。</li> </ul>